実施計画書

**１．申請する「地域DX推進ラボ」の名称（30文字以内）**

|  |
| --- |
|  |

**２．受付番号**

|  |
| --- |
|  |

以降の記載項目と審査の視点との対応関係を本書類の最後に記載しています。

各項目を入力するにあたり、参考にしていただければ幸いです。

**３．「地域DX推進ラボ」の概要**

（１）事務局

＊担当者が2名以上の場合、記載欄を追加して記入してください

|  |  |
| --- | --- |
| 名称 |  |
| 住所 |  |
| 担当者 | 所属 |  |
| 役職 |  |
| 氏名 |  |
| 電話番号 |  |
| メールアドレス |  |

（２）「地域DX推進ラボ」を構成する企業・団体・自治体等（事務局の記載は不要）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 会社、団体名または商号 | 住所 | 分類 | 業種 | 従業員数 | 資本金 | 規模 |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
| 上記構成企業等を代表する者の所属と氏名（事務局以外で該当者がいれば記載）所属：代表者名： |

＊応募申請書に記載する構成企業等からあらかじめ同意を得ていることが必要です。

＊分類の欄は、産、官、学、金を記載してください。

＊業種の欄は、「日本標準産業分類」における主たる業種名（中分類）を記載してください。

＊資本金の欄は、団体等で資本金がない場合には「－」と記載してください。

＊規模の欄は、中小企業は「中」、大企業は「大」、公的機関や大学等の場合は「－」と記載してください。

＊５者以上の場合は適宜、行を追加して記載する、もしくは別紙にて添付してください。

**４．事業の内容**

（１）応募する背景、目的、DXの推進に向けたビジョン、地域産業・企業の従来モデルの変革の絵姿について記載してください。

|  |
| --- |
| ※DXの推進に向けたビジョン・変革の絵姿の記載方法については、既に各地域で定めた戦略や実施計画などの該当箇所の抜粋のみで構いません。 |

（２）本事業の概要について、下記該当項目にチェックの上、記載してください。

　　□地域の産学官金のプロジェクト

　　□ラボに参画されている地域支援機関等による企業支援の取組

|  |
| --- |
| ※誰がいつ何をどういう手段で実施するのか等を簡潔に記載してください。 |

（３）本事業を実施することにより地域の経済や産業への貢献が期待される内容について簡潔に記載してください。また、重要業績評価指標（KPI）について記載してください。

|  |
| --- |
|  |
| 重要業績評価指標（KPI）： |

＊重要業績評価指標（KPI）の記載例：　○○年までに○○○○○を○件

（４）自立化への道筋

※ビジネスとして自立化までの想定シナリオを具体的なスケジュールとともに簡潔に記載してください。

|  |
| --- |
|  |

（５）自治体の役割

|  |
| --- |
|  |

**５．キーパーソン**

　地域DX推進ラボを適切かつ創造的に運営・発展することが可能な人材について、人柄やこれまでの実績、どういった人的ネットワークを持っているか、当該ラボでの役割等をご記載ください。

|  |
| --- |
| 氏名： |
| 所属： |
| 経歴： |
| 役割： |

＊複数人存在する場合は適宜、行を追加してください。

**6. その他（加点となる取組）**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| # | 加点のポイント | 有無 | 具体的な取組内容を簡潔に記載してください |
| 1 | オープンデータを積極的に活用する取組 |  |  |
| 2 | デジタル推進人材を育成・確保する取組 |  |  |
| 3 | 地域のデータ連携基盤を整備（ハード面だけでなく、データ連携のための体制およびルール作りも含む）し、企業・団体・地域間のデータ連携を創出・促進する取組 |  |  |

以上

（参考）記載項目と対応する審査の視点との関係

|  |  |
| --- | --- |
| **記載項目** | **対応する審査の視点** |
| ３．「地域DX推進ラボ」の概要（１）事務局（２）「地域DX推進ラボ」を構成する企業・団体・自治体等 | 審査の視点【多様性と一体感】地域の特徴ある多くの多様な機関（地域の公的機関、大学・各種学校、研究機関、企業・事業者、事業者団体、投資家、ベンチャーファンド、金融機関、市民団体等）が連携または参加している取組であること。 |
| ４．事業の内容（１）応募する背景・目的について記載してください。 | 審査の視点【方向性】DXの推進に向けた**ビジョン**、実施計画、進捗状況を測るための指標が明確であること（自治体のDXも含みます）審査の視点【変革】顧客や社会のニーズを基に、地域産業・企業の従来モデルの変革を目指す取組であること |
| ４．事業の内容（２）本事業の概要について記載してください。 | 審査の視点【方向性】DXの推進に向けたビジョン、**実施計画**、進捗状況を測るための指標が明確であること（自治体のDXも含みます）審査の視点【地域性】地域の経済発展とウェルビーイングの向上を目指す取組であって、下記のいずれか、又は両方に該当すること1）地域課題の解決や地域産業の競争優位性の確立等を目指す取組であること2）地域企業の競争優位性の確立等を目指す取組であること |
| ４．事業の内容（３）本事業を実施することにより地域の経済や産業への貢献が期待される内容について簡潔に記載してください。また、重要業績評価指標（KPI）について記載してください。 | 審査の視点【方向性】DXの推進に向けたビジョン、実施計画、進捗状況を測るための**指標**が明確であること（自治体のDXも含みます） |
| ４．事業の内容（４）自立化への道筋 | 審査の視点【自治体の積極性と継続性】* 自治体が積極的に運営・協力しており、反復継続を意図した取組であること。
* **経済的にも自立し、リターンを産める取組であること。**
* 「地域DX推進ラボ」を適切かつ創造的に運営・発展することができる人材がいること。
 |
| ４．事業の内容（５）自治体の役割 | 審査の視点【自治体の積極性と継続性】* **自治体が積極的に運営・協力しており、反復継続を意図した取組であること。**
* 経済的にも自立し、リターンを産める取組であること。
* 「地域DX推進ラボ」を適切かつ創造的に運営・発展することができる人材がいること。
 |
| ５．キーパーソン | 審査の視点【自治体の積極性と継続性】* 自治体が積極的に運営・協力しており、反復継続を意図した取組であること。
* 経済的にも自立し、リターンを産める取組であること。
* **「地域DX推進ラボ」を適切かつ創造的に運営・発展することができる人材がいること。**
 |